



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1995-96

Act with Integrity
Serve with Love
Work for Peace

真心の行動 ● 慈愛の奉仕 ● 平和に挺身
1995～96年度・国際ロータリーのテーマ／ハーバードG.ブラウンRI会長

●本日の例会 10月20日／第436回例会

■クラブフォーラム 「職業奉仕について」

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

職業宣言

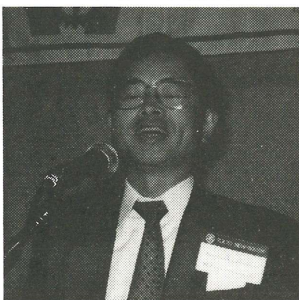
事業または専門職務にたずさわるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。

- 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。
- 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳規準に対し、名実ともに忠実であれ。
- 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業に於いて、最高度の倫理的規準を推進すべく全力を尽くせ。
- 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆等、事業または職務上関連するすべての人々に対し、ひとしく公正ならんことを旨とせよ。
- 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
- 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の質を高めよ。
- 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うにあたっては、正直専一なるべし。
- 事業または専門職務に関連して、通常容認される限度を超えた便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ。

(RI 1989年)

●先週報告

10月13日／第435回例会



佐藤 栄二 氏

■卓話「宮沢賢治生誕100年を前に」

ローマ銀行東京支店 副支店長 佐藤 栄二 氏

■会長報告

本日は山川会長が海外出張により欠席のため、柴藤副会長の点鐘で例会が始まりました。

■幹事報告

①第2750地区地区大会〔96.3.8(金)9(土)〕アンケートのご回答を10月20日までにお願ひ申し上げます。

②研究グループ交換(GSE)チームメンバー推薦の件(裏面参照)

■出席委員会報告(佐々木副委員長)

委員長の出席率向上の呼びかけに対し、皆様に応えていただき、7月86%、8月90.04%、9月91.69%と月を追う毎に向上しております。今後もこの調子で、目標の95%の達成に御協力をお願い致します。

■親睦活動委員会報告(川鍋委員長)

本年度第2回目の親睦ゴルフコンペを11月16日(木)に小金井カントリー倶楽部(4組)で行ないます。奥様お誘いのうえ奮ってご参加下さい。

■社会奉仕委員会報告(入沢委員長)

①神戸市広報課発行の“阪神淡路大震災・半年間の復旧のあゆみ”写真集を回覧。

②防災活動の勉強等を通じて防災対策の必要性も痛切に感じた島田会員は早速社内に大号令し、防災規定及び細則を作成させ、先日の取締役会で承認させた。緊急時の組織、責任者、連絡網、用意するもの等を盛り込んだものである。一市民として、一企業人として、少しでもこの防災活動に取り組むよう啓蒙してゆくのが当委員会活動の目標です。

■慶事披露●お誕生日祝／吉岡琢磨君(10月13日)、加藤昌明君(10月16日)、宮澤博君(10月17日)

■出席報告●会員73名・出席46名・欠席27名(出席規定免除者5名)

ビジター(敬称略) 林 有厚(東京本郷)、小見山了一、立石信義、杉山民治(以上東京南)

●来日交換学生の近況報告「レイチェル、鎌倉に遊ぶ」

カウンセラー 渡部 一元



当クラブで受け入れている青少年交換、来日学生のレイチェル・ブレイザーさん（青山学院高等部2年）が、10月10日の祭日、伊部和夫会員・同千歳夫人のお招きで、古都鎌倉を訪れた。大仏様から始まり、長谷寺、八幡宮、建長寺に足を運んだ。長谷寺からは、相模湾が一望に見渡され、海の無いところ（ネブラスカ州）から来たレイチェルは、「キレイ」を連発していた。当クラブから、ホスト・ファミリの佐藤会員・同梯子夫人、渡部（カウンセラー）が同行した。

子供の頃、（60年前！）当地に住んでいた佐藤さんから、歩きながら、鎌倉の歴史について色々伺った。

夜は、鎌倉市梶原の伊部さんのお宅でバーベキューパーティ、ご家族総出の心のこもった温かいおもてなしを受け

た。宮本青少年交換委員長も途中から参加し、大いに盛り上がった。体育の日、秋空の下、良く歩き、おいしいご馳走をいっぱいいただき、レイチェルにとって、素晴らしい休日であった。

先日の夜間例会にゲストとして出席して以来、当クラブ会員との交流は今回二度目だが、日本語も少しずつ出来るようになり、今後とも、会員の皆さんの積極的なお誘いをお待ちしております。

■96～97年度研究グループ交換(GSE)チームメンバー推薦のお願い

第2750地区では、GSE派遣チームメンバーの選考を本年度に実施することを決定し、地区各クラブに対し、区域内よりチームメンバー適任者をGSE委員会へ推薦するよう要請がありました。このGSEは、第2750地区の事業としては第2回目のプロジェクトであり、継続して行う事業でもあります。これは国際ロータリー財団の教育活動計画の一つであり、国を異にする二つの地区がそれぞれ自地区内から選抜した実業人及び専門職の人から成る4名と、リーダーのロータリアン1名を加えた計5名から成るチームを交換して相互に受入れ、これらのメンバーを地区内各地のロータリアンの家庭に宿泊させ、地区の主要な政治、経済、産業、文化その他の諸事情をおおよそ5週間に亘って視察研修しつつ個人的交流を深め、日常の生活を体験する機会を与えるものです。

①交換相手地区：RI第7770地区（米国サウス・カロライナ州／コロンビアとその近郊）

②チーム派遣時期および期間：1997年3月29日より5月3日までの5週間

③チームメンバー候補者選考と決定：

各ロータリークラブは、クラブテリトリー全域に亘って、特に有力事業所、団体、教育機関等に対して十分な広報を実施し、候補者をできるだけ広範囲に求めること。候補者推薦はクラブ内にて選考の上、本年11月15日までにガバナー事務所内／地区GSE委員会に申請。

④相手地区チームの受入れ：交換の相手地区チームの当地区受入れは、96年3月2日より4月6日の予定です。

■ポリオプラス情報

1995年は40カ国で2億2千1百万人の子供たちをポリオおよびその他の疾病から守るために、全国一斉予防接種の日（NID）を実施する計画が進行しており、そのうちの29カ国では、国際ロータリーがポリオの根絶を目指す世界保健機構、ユニセフ、米国疫学センター、各国政府、その他の組織団体と提携して、その実施に関与しています。

フィリピンでは、2月15日と3月15日にNIDが実施され、この両日で5歳以下の児童の約92%への免疫接種を達成しました。同国では1979年からポリオ免疫接種キャンペーンを開始し、ポリオ発生件数は1985年に確認された550件以上から、1994年には僅か7件にまで減少しました。

「ロータリーワールド」より

ニコニコBOX

順不同・敬称略

10月13日／9件 31,000円

95～96年度累計 634,000円

多額のご寄付を有難う
ございました。

高橋 良士／今月で入会1年となりました。皆出席です。今後ともよろしく。沖宏之／小湊先生大変お世話になりました。有り難うございました。宮武 保義／体育の日は、孫の幼稚園の運動会を楽しみました。後藤 信夫／先週の9周年を欠席してしまいました。横山 秀明／新保さんの人柄に惚れ直したので。相澤 成憲／お久しぶりです、メークアップが続きました。鍋島 晴夫／申し訳ありませんが、受付だけ果たして早退します。荒木 昭文／新保さんのお顔を見ましたので。新保 國彦／ニコニコ当番です。皆様のご協力を感謝します。

●次週予告

10月27日／第437回例会

■卓話予定「ロータリーでいう職業奉仕とは」

東京世田谷南ロータリークラブ会員
野村 福祉 共済会 理事

大山 利雄 氏

東京新南ロータリークラブ

会長：山川政樹 副会長：柴藤清三郎 幹事：関 征春

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

荒木 昭文、清原 元輔、青野 信次、

植田 和男、後藤 信夫、新保 國彦、

相澤 成憲、吉田 用親、高橋 良士、

吉岡 琢磨、大村 富俊（編集担当順）